

様式第一（第一条第二項関係）

<p style="text-align: center;">土壤汚染状況調査結果報告書</p> <p style="text-align: right;">〇〇年〇〇月〇〇日</p> <p>〇〇地域振興局長 様</p> <p style="text-align: right;">報告者 長野県〇〇市〇〇町1234番地 〇〇株式会社 代表取締役 〇〇 〇〇</p> <p style="text-align: right;">報告者は土地の所有者等です。</p>	
<p>提出先となる地域振興局名を記入してください。</p>	
<p>土壤汚染対策法第3条第1項本文の規定による調査を行ったので、同項の規定により、次のとおり報告します。</p>	
工場又は事業場の名称	〇〇株式会社 □□事業場
工場又は事業場の敷地であった土地の所在地	〇〇市〇〇町△△番地（地番） 別紙〇〇のとおり
<p>敷地の全ての地番を記入してください。多数の地番があり記入しきれない場合は、代表の地番の他、残りの筆数を「外〇〇筆」と記入し、一覧表を別紙として添付してください。</p>	
<p>使用が廃止された有害物質使用特定施設</p>	
施設の種類の	65 酸又はアルカリによる表面処理施設 66 電気めっき施設
施設の設置場所	別紙〇〇のとおり
廃止年月日	〇〇年〇〇月〇〇日
<p>試料採取等対象物質を記します。欄が狭く、記入できない場合は、「別紙〇〇のとおり」としてください。（別紙添付）</p>	
土壤溶出量基準又は土壤含有量基準に適合していないおそれがある特定有害物質の種類	鉛及びその化合物、砒素及びその化合物、ふっ素及びその化合物
<p>基準不適合物質及び超過した基準の種類を記入してください。</p>	
土壤汚染状況調査の結果	基準に適合しなかった特定有害物質 (例) トリクロロエチレン（第二溶出量） 鉛及びその化合物（溶出量、含有量） (詳細は別紙〇〇のとおり)
分析を行った計量法第107条の登録を受けた者の氏名又は名称	株式会社〇〇 計量証明事業登録番号 第〇〇〇号
土壤汚染状況調査を行った指定調査機関の氏名又は名称	〇〇株式会社 指定番号 20〇〇-〇-〇〇〇〇
土壤汚染状況調査に従事した者を監督した技術管理者の氏名及び技術管理者証の交付番号	〇〇株式会社 〇〇部 〇〇 〇〇 技術管理者証交付番号 第〇〇〇号

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。